

7割以上の高3生が「社会のために貢献したい」と考えている

自分の将来についてのイメージを尋ねたところ、9割以上の高3生が「自分の家族の幸せを大切に暮らしたい」「自分の趣味を楽しんで暮らしたい」と回答している（「とてもあてはまる」+「まああてはまる」、以下同様）。一方で、「出世して高い地位につきたい」「リスクがあっても高い目標にチャレンジする仕事をしたい」「世界で活躍したい」と考える高3生は4割台にとどまっている。また、「社会のために貢献したい」に「あてはまる」と回答した高3生は、「あてはまらない」と回答した高3生に比べて、「進路選択主体性・高群」の割合が高い。

Q あなた自身の将来について、次のことはどれくらいあてはまりますか。

図4-1 自分の将来についてのイメージ(全体)

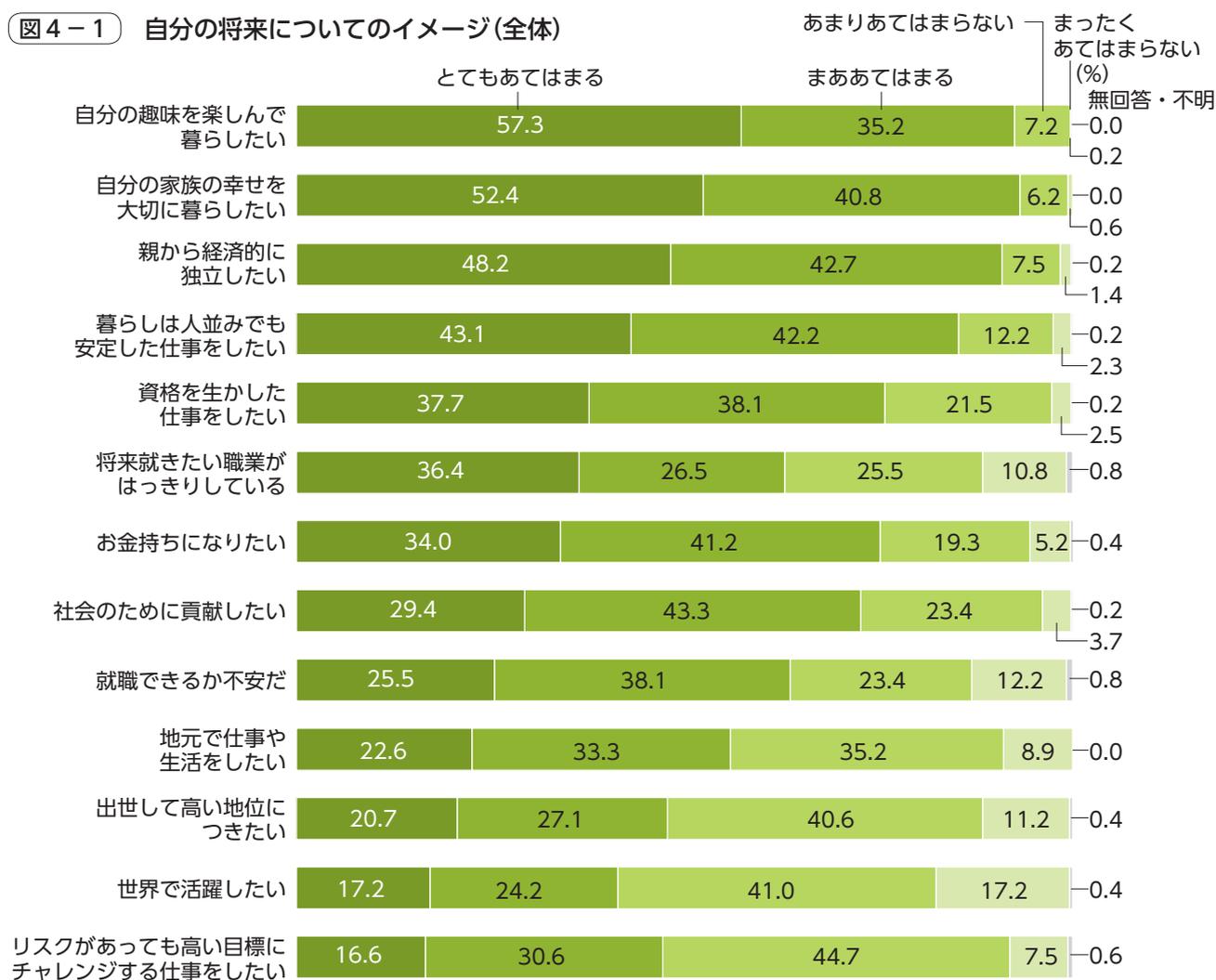
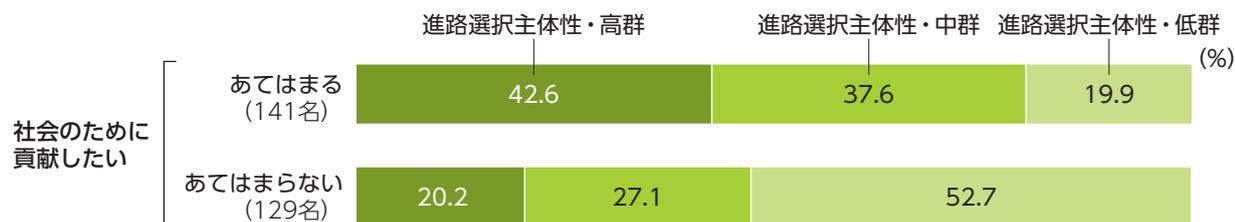


図4-2 進路選択における主体性（「社会のために貢献したい」の回答別）



注 「あてはまる」は「社会のために貢献したい」について、「とてもあてはまる」と回答した人、「あてはまらない」は「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した人。「まああてはまらない」、無回答・不明は省略している(図4-2)。